

## 名古屋アイスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

2014-15 年度国際ロータリー会長 ホアン黄其光 Gary C.K. Huang(台湾・台北RC)

例会日:毎週水曜日 13:00~14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創 立:2013 年 6 月 5 日

会 長:荒山 久美



### ■ 斉唱

「君が代」「奉仕の理想」

### ■ 司会

青木恭子 会員

### ■ 出席者報告

会員数:34 名

出席者:28 名

出席率:82.3%

前々回(第 75 回)修正出席率は 79.4%(27/34)

### ■ 本日のゲスト・ビジター紹介

名古屋北 RC 浦野三男特別代表

名古屋大学客員教授 水谷研治氏

### ■ ニコボックス報告

名古屋北 RC 浦野三男特別代表

寒中お見舞い申し上げます。

### ■ 荒山会長

水谷研治先生、ようこそアイリス RC へお越しいただきました。本日の卓話楽しみにまいりました。よろしくお願ひ致します。

### ■ 安井会長エレクト

寒い日がつづいていますが風邪なのか耳がだんだん聞こえづらくなって目ははっきりしません。少し元気なのは口だけです。皆様ご自愛下さい。

### ■ 藤森淳 幹事

水谷研治先生、卓話を楽しみにしております。

### ■ 藤谷 猛 会員

1/31(土)新会員研修セミナーに参加させていただきました。松前地区研修リーダーより「サービス(奉仕)と幸福」について特別にお話を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

### ■ 幹事報告(藤森幹事)

1. 2月22日はRI第2760地区大会がウェスティンナゴヤキャッスルで行われます。
2. 3月26日(木)アイリスの集いを行います。出欠は親睦委員長の加藤会員まで。

### ■ 会長挨拶

本日は立春です。そろそろ春になってくれるのかと思っておりましたら、寒さが戻ってきてしまいました。やはり、よく言われますように「お水取り」を待たねばならないのかと、観念した次第です。



さて、先週のガバナー訪問も、会員の皆様のご協力をいただき、無事終えることができました。感謝いたしますとともに、アイリス・ロータリー・クラブの活性化に

取り組んで参りますので、今後いっそうのご協力をお願いいたします。

新聞にも出ておりましたので皆様もご承知かと思いますが、昨日は日本で3番目に古く、東京ロータリークラブを親クラブとして名古屋で初めて設立された「名古屋ロータリークラブ」の90周年記念の式典がございました。会員数188名の大所帯のクラブですが、歴史と伝統を感じるのは当たり前のことながら、おもてなしをくださった数名の会員さんは話題も豊富、私共のような新参者に対しても、場を和ませる会話で終始にこやかに対応してくださいました。ロータリアンに上下はないと申しますが、やはり格の違いを感じるとともに、ひよっこの当クラブも学ぶべきところはしっかりと学んでいきたいと思っております。

では、お待ちかねの本日の卓話をお願いいたしております水谷研治先生をご紹介します。

先生は、昭和8年に名古屋でお生まれです。昭和31年に名古屋大学経済学部を卒業され東海銀行（現、三菱東京UFJ銀行）に入行されました。銀行マンとしては、清水、秋葉原、八重洲、ニューヨークの各支店長、調査部長、専務取締役を歴任され、東海総合研究所（現、三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱）に移られてからは、代表取締役社長、同会長、理事長を歴任されました。その後、中京大学で教鞭をとられ、経済学研究科長、MBAビジネス・イノベーション研究科長を務められ、平成26年より、名古屋大学の客員教授として、現在に至っております。

申すまでもなく、エコノミストとして大活躍をされ、日本経済の分析と展望、経済変動、企業金融、国際経済の分析と動向把握などの分野で情報発信をされてきました。まだ円相場が1\$=250円の時代に、1\$=150円時代の到来を予測されました。著書も多数お持ちです。そして最近の著書「財政改革の衝撃――待つも地獄、進むも地獄の日本経済」では、急激な円高や成長経済の終焉を早くから警告されました。

本日は、「今後の経済動向―アベノミクスの行方―」と題し、アイリス・ロータリー・クラブのために特別に卓話をお引きくださいました。どうぞ拍手をもってお待ちしておりますようお願いいたします。水谷先生、ア

イリス・ロータリー・クラブの卓話をお引き受けいただき、感謝申し上げます。クラブを代表しお礼を申し上げます。では、よろしくお願いいたします。

## ■ 卓話（名古屋大学客員教授 水谷研治氏）

「今後の経済動向―アベノミクスの行方」

1. 政府の懸命な景気振興
2. 出口の見えない世界経済
3. 進展する人手不足
4. 生産性の低下による経済の縮小が問題
5. 長期的な対応を



## ■ 次回例会

第78回 2月18日（水）

\*スピーカー 町田健氏（名古屋大学文学部教授）